

八王子北 高 生

-2023-

すすめるこの一冊

HACHIKITA
SELECTION





UPCOMING READINGS

これが分かれば図書館の本が探せる

By 日本十進分類法

000	《調べる》がカギとなる本
100	哲学・思想・心理学・神話に関する本
200	歴史・伝記・地理に関する本
300	社会科学 (政治・経済・進路・教育・民俗学等)
400	自然科学 (数学・宇宙・地球・生物・植物・動物・医学等)
500	技術工学(環境・建築・生活・料理等)
600	産業 (農業・園芸・畜産・森林・水産・交通・通信等)
700	芸術・美術(絵画・写真・音楽・スポーツ等)
800	言語(日本語・英語・その他の言語)
900	文学(日本文学・各国の文学・詩・随筆等)

タイトル 「みんな違ってみんないい」のか? — 相対主義と普遍主義の問題

著者名 山口裕之



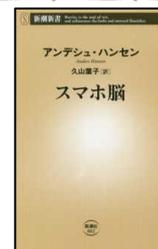
コメント

あまりにも有名な金子みすずさんの詩の一節ですが、本当に、それで良いのか? という本です。カレーが好き、パスタが好き、ハンバーグが好き、ということならば「みんな違ってみんないい」なのでしょうが、例えば、戦争や差別という問題は、みんな違っては、ダメだよ、ということですね。著者は「みんな違ってみんないい」という言葉に隠れてコミュニケーションや他者を理解することを放棄しているのでは、と警鐘をならしています。高校生向けとはいえ、哲学の本なので、それなりに難しい内容もありますが、こういう本に、しっかり取り組むのも夏休みの醍醐味です。

島村先生

タイトル スマホ脳

著者名 アンデシュ・ハンセン



コメント

スマートフォンは、学習や仕事、趣味、そして人間関係などで、とても便利なツールだが、その一方で、人間の心身への影響が心配されている。スウェーデンの精神科医が書いた本書は、専門的な視点から、スマホが原因と思われる睡眠障害、うつ、記憶力・集中力そして学力の低下、依存症について考察しており、昨年度のベストセラーに輝いた本である。自身の臨床経験に加えて、「手書きでノートをとる場合とパソコンでは、どちらが授業内容を理解しているか」「紙の本を読む場合とタブレットでは、どちらが話の内容を覚えているか」など、世界中の膨大な研究成果を紹介している。さらに、IT業界のトップは、自分の子どもがスマホを使うことに、とても慎重だったことにも言及している。スティーブ・ジョブズ（アップル社の創業者）はiPadの使用時間を厳しく制限し、ビル・ゲイツ（マイクロソフト社の創業者）は、14歳になるまでスマホを持たせなかった。最終章では、デジタル機器からの影響を最小限にするためのアドバイスが挙げられているので、本校の図書館に所蔵されている（八王子市立図書館で借りるには半年待ち）本書を読んで、どのようにデジタル・デバイスと付き合っていくか、あらためて考える機会にしてはどうだろうか。

飛田先生

タイトル 復讐の協奏曲（コンチェルト）

著者名 中山七里

コメント



中山七里の作品にはクラシック音楽を題材にした「岬洋介シリーズ」と、法廷ミステリーである「御子柴礼司」シリーズがありどちらもおすすめなのですが、今回は御子柴礼司シリーズの「復讐の協奏曲（コンチェルト）」を紹介します。かつて世間を震撼させた福岡市の少女殺害事件の犯人“園部信一郎”が改名したという異色の経歴を持つ御子柴礼司は、どんな罪名でも必ず執行猶予や減刑、時には無罪を勝ち取る辣腕弁護士です。今作では御子柴の事務所で働く事務員である日下部洋子が殺人容疑で逮捕されてしまいます。洋子の弁護を引き受けた御子柴は洋子の過去を遡るうちに意外な事実を知ることになります。シリーズ5作目の本作ですが読み終えたら他の4作も読みたくなるに違いありません。

佐藤先生

タイトル わたしを離さないで

著者名 カズオ・イシグロ

コメント



優秀な「介護人」として働くキャシーは、「提供者」と呼ばれる人の世話をしている。生まれ育った施設の親友も「提供者」だった。

施設での奇妙な日々を回想しながら残酷な真実を明かしていく。

「介護人」と「提供者」とはどんな意味を持つどんな関係なのか…

残酷で素敵なストーリーです。

鈴木政子先生

タイトル 嫌われる勇氣

著者名 岸見一郎 古賀史健

コメント



「アドラー心理学」という心理学を、哲学者と若者の対話形式で分かりやすく解説しています。

「人間の悩みはすべて対人関係の悩みである」

「目的が行動を決定し、過去は存在しない」等

斬新で切れ味のよい考え方を知ることができます。

自分に自信が持てない人、他人の顔色をついついうかがってしまう人、

ぜひ一度読んでみて下さい。

勇気をもらえる一冊です。

秋田先生

タイトル 横浜駅 SF

著者名 柞刈湯葉

コメント



99パーセント横浜駅と化した近未来日本。脳に埋め込まれた Suika で管理される

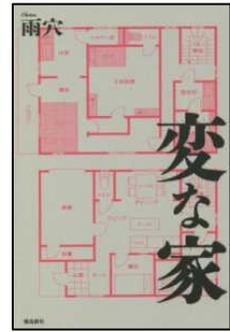
エキナカ社会を舞台に、人間の未来を賭けた戦いがはじまる…面白いです。

綿田先生

タイトル 変な家

著者名 雨穴

コメント



ごく普通の一戸建ての間取り図には、ある秘密が隠されていた…

不思議な味わいの不動産ホラー。関連動画もあるのでぜひ。

綿田先生

タイトル 突然ノックの音が

著者名 エトガル・ケレット

コメント



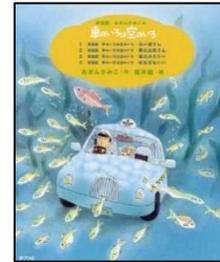
イスラエルを代表する作家。とにかく短くて読みやすい。

SF からほっこり系まで、いろんな味わいのある短編・掌編です

綿田先生

タイトル 車のいろは空のいろ

著者名 あまんきみこ



コメント

「白いぼうし」なら小学校の国語の教科書にも掲載されて読みやすく、おなじみかと思いますが（これはレモンのおいですか？いいえ夏みかんですよ。というあれです）

私はこのシリーズの中でも「すずかけ通り3丁目」をおすすめします。

40代の女性は聞いたことのない地名を指定します。女性から語られる戦時中の空襲時の思い出話。そして女性がすべてを語り終えた後に運転手の松井さんが目にしたものは。

読み手の子供が傷つかないように簡潔な語り口でその悲惨さを確実に伝える作品です。

特にこの作品を題材にした曲で谷山浩子「すずかけ通り3丁目」を

聞くと更に世界観が深まります。

恩曾先生

タイトル 銀河英雄伝説

著者名 田中芳樹



コメント

SF小説の金字塔では？という王道中の王道。

遙か未来人類は皇帝・貴族制度の銀河帝国と共和主義国の自由惑星同盟と別れ、両陣営は150年もの間戦い続けていた。そんな膠着状態の中、両陣営から若き英通が登場し歴史が大きく変わり始める。

物語は両陣営側から語られ特に個々のキャラクターに個性があり、だからこそ戦争の愚かさが浮き彫りになります。

ちなみに戦争ものなのでたくさんの登場人物が容赦なく死んでいきます。お気に入りの人物は最後まで生き残れるかも地味に手に汗にぎります。

恩曾先生

タイトル キノの旅

著者名 時雨沢恵一

コメント



旅人のキノがなぜかしゃべれるモトラド（バイク？）と共に様々な国を旅する1話完結の短編物語。様々な価値観や制度、思想、文化レベルにも違いのある人達との出会いと別れ。

それぞれの国や民族が信じている「正しさ」それをどうとらえるか。読み方によっていろいろな考えさせられ方があります。当時1巻が発売された時軽い気持ちで購入した本がここまで人気作品になるとは思わなかったのが本音です。

恩曾先生

タイトル みをつくし料理帖

著者名 高田郁

コメント



時代は江戸時代。時代小説となると敷居が高く感じますが、この作者は元少女漫画家であったこともあり読みやすい文体で話が進みます。

災害で生き別れになった幼なじみが遊郭に売られていることを知る女主人公。

その幼なじみを助けるためにとった行動は。人情・料理・恋愛・陰謀・当時の暮らし、世情等々綿密な資料を基にあらゆる要素が盛り込まれていてしかも齟齬（そご）がない贅沢な一冊。しかもレシピ付き。

誰もが思いつかなかったであろう驚きの結末をぜひ味わってほしい一冊です。

恩曾先生

タイトル 向田邦子暮らしの愉しみ

著者名 向田邦子 向田和子

コメント



あえて作品ではなく作品の根源にある彼女の嗜好や私生活を対談やエッセイをまじえてしっかりと自分の目で選び「自分らしく生きる」を貫いた彼女の一生を紹介した一冊。

料理・猫・器・美術品・旅・服・文具等、流行ではなく自分なりのこだわりを持ち続けたからこそ作品、作風、表現が生み出された背景が知れる至福の一冊です。
向田邦子入門書としてもお勧めです。

恩曾先生

タイトル 沈まぬ太陽 3 御巣高山篇

著者名 山崎 豊子

コメント



航空機墜落事故についての取材の丁寧さ、表現の豊かさに圧倒されます。無念さ、悲しみに涙が止まりませんが、生命の大切さを考えさせられます。

加藤先生

タイトル あつかったらぬげばいい

著者名 ヨシタケシンスケ

コメント



「ねばならない」にとらわれてすぎている自分を、

じわじわと溶かしてくれるような絵本です。

生井先生

タイトル DAYS

著者名 安田剛士作

コメント



この漫画は、運動経験がほとんどない高校生の主人公が都内屈指の強豪校のサッカー部に入り、努力を積み重ねていき、様々な出会いを経験しながら最終的には全国大会で活躍できるまで成長していく姿を描いたストーリーです。

主人公の努力する姿や、強豪のサッカー部員として徐々に変化していく顔つきも見どころの一つですが、個人的には主人公を囲む個性豊かなチームメイトにも注目してもらいたいです。中でもキャプテンの水木は高校2年で既にプロ内定までしてしまう実力の持ち主ですが、サッカー以外のことに関してはかなり天然で、いわゆるカリスマ的なキャプテンではないものの、確かな実力と要所要所で発する言動でチームを牽引する姿は最高にかっこいいです。

経営企画室野崎さん

タイトル ミライの武器「夢中になれる」を見つける授業

著者名 吉藤オリイ



コメント

著者は小学校から中学校の3年半不登校で自己肯定感ゼロ、5教科の合計点は100点以下その上いつも「孤独」だったそうです。

もう一人の自分が学校に通って、友だちと仲よくなれたらいいなといつも妄想を抱く日々。その妄想から今や分身ロボット制作の第一人者となっています。と言ってもこの本サクセスストーリーではありません。(分身ロボットの意味はここでは省略しますが、読んだらなるほどです)

いま熱中していることがある人も、自分のやりたいことを見つけたい人にも刺さる言葉がたくさんあります。夢中になれるものに出会うともうこっちのもんみたいな、

司書 山崎博美

タイトル 夜と霧

著者名 ヴィクトール・エミール・フランクル



コメント

皆さんはドイツのヒトラーと強制収容所はご存じだと思います。ユダヤ人である精神科医の著者はその強制収容所に入れられ、「絶望の中で」希望を見出しこの本をわずか9日間で書き上げました。以前、私はドイツの強制収容所跡を見学したことがありますその衝撃はいまだに忘れることができません。

タイトルの「夜と霧」それはヒトラーがユダヤ人を「夜、霧に紛れて秘密裡に連行しろ」という命令だったのです。今じゃなくてもいつかそのうち、大人になってどうしようもない苦しみにぶつかった時に是非読んで欲しい1冊です。

司書 山崎博美

タイトル 夜明けのすべて

著者名 瀬尾まいこ

コメント



小さな会社に勤めるパニック障害の男性と、PMS(月経前症候群)に苦しむ女性。恋人でも家族でもない単なる同僚2人の、ちょっとずれている優しさが笑え、コミカルで読みやすい一冊。

人間誰しも多かれ少なかれ色々あります。人生～いろいろ♪です。自分自身が受け止めるにも勇気がいるし、誰かに打ち明けるのはもっと勇気がいらすね。2人の前向きな姿を読みながら、それぞれが抱えている問題に大きいも小さいもなく、誰かと一緒に背負うことができたなら、きっとほんの少し前を向けるのではないかなーと、考えました。そして、可能な限りこの図書館が皆さんにとってそんな存在になれば良いなーとも。

司書 菅原美涼

タイトル 伝わるちから

著者名 松浦弥太郎

コメント



松浦弥太郎さんの紡ぐ言葉が私は好きで、温かく、ハッとさせられ、たくさんノートに書き留めました。読書って結構疲れる行為だと思いますが、疲れている時にこそ心を埋めてくれる一冊です。いくつかご紹介。

「寄り添う。いつも寄り添う。何があろうと寄り添う。ずっと寄り添う。親しき仲とは、寄り添う仲ではなかろうか。」 p 93

「無駄遣いという失敗の貯金」 p 116

「もし、自分をやっつけようと思ったら何をするか。成長したいなら、それを考えるといい。」 p 163

司書 菅原美涼

タイトル スラムダンク

著者名 井上雅彦

コメント



大大大大好きな漫画を一冊！

小中高とバスケしかしてこず、バスケ命だった私にとってこの漫画は青春そのものなのです。

何かに熱中できること、仲間や相手への敬意、これだけやってきたという自負、強い芯をもっている登場人物たちは皆とってもかっこいい！ちなみに、私の高校生時代はほぼ坊主！恋愛禁止！食事制限！朝6時から練習！1年でオフはたったの3日だけ！といったがっちがちの軍隊生活でしたので、花道同様授業中とはとにかく寝て体力回復に努め、早弁は当たり前・・・しまいには授業中にお弁当を食べる荒業を習得する部員も・・・ほぼ漫画の世界を生きたよき青春時代です。

司書 菅原美涼

皆さんのおすすめも ぜひ教えてください！



生徒の皆さんも、ぜひおすすめの本や漫画があったら教えてくださいませんか？

普段読む本が偏ってしまいがちですが、新しい発見があって楽しいのです。

左 QR コードからいつでも入力できるのでぜひ♪





—今年度着任された先生方の おすすめ本—

『図書館だより 5月号』にてご紹介させていただきましたが、

友常副校長先生

せっかくなので改めてみなさんにご紹介！

『クスノキの番人』東野圭吾著



関根先生

『一瞬の風になれ』佐藤多佳子著



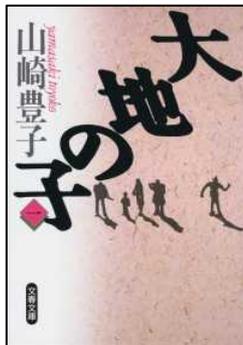
早尾先生

『村上海賊の娘』和田竜著



加藤先生

『大地の子』山崎豊子著



谷口先生

『蜜蜂と遠雷』恩田陸著



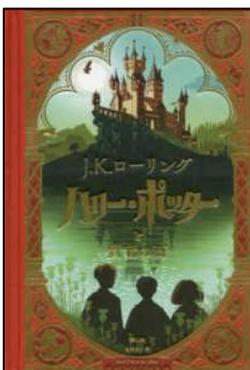
竹花先生

『西の魔女が死んだ』梨木香歩著



村岡先生

加勢田先生
『ハリー・ポッター』J.K. ローリング著



『君たちはどう生きるか』

吉野源三郎原作





東京都立八王子北高等学校 図書館

—2023 年度版—